

令和2年度 授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）

教科名	音楽科
-----	-----

学校番号 12 学校名 貫井中学校

課題分析	授業改善策	改善状況
<p>[関心・意欲態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上級生になるにつれて授業への関心は高くなっているが、アンケートでは、発言の場が少ないとの声が多いので、グループ学習や生徒が意見を発表する時間の確保を計画的に設けるのが課題である。 <p>[表現の技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱においては、新型コロナ感染拡大予防対策の方針で、制限がいろいろあるため、歌唱やハーモニ練習も思うように出来ず、楽曲を仕上げるのに時間がかかり、かつ周囲を気にするので思いつき声が出せない。そういう中で、歌う楽しさ、表現の技能をいかに体感させるかが課題である。 ・器楽では、「箏」は分散登校を利用し、工夫して個別指導が、細かい点まででき、また、リズム創作やリズム打ちも興味をもって取り組んでいるが、読譜力がまだ身につけていないのが課題である。 <p>[鑑賞の能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲を聴く姿勢及び、曲に親しみ、感想を書く習慣は定着しつつあるが、作曲家の意図をしっかり理解した上での感想とまではいかないのが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで、授業内容の振り返りの充実を図り、意識の向上を目指す。 ・ねらいを絞った意見を引き出せるような発問を工夫する。 ・グループ学習を通して、意見交換をし、より良い表現を考える対話的な授業の場を増やし発表の場では、いろいろな意見に耳を傾けられるよう指導する。 ・個別指導の際に、課題内容を工夫し、読譜の基本知識や諸要素の働きを理解して表現に生かせるようにする。 ・授業のポイントを明確化することで、取組の意識を高めさせる。 ・授業のねらいに合った映像を活用できるようにすると同時に、楽曲の説明をより明確にし、ワークシート等も工夫する。 	